

「教師の仕事と4月までの課題」

教師の仕事の中でまず一番大切な仕事は、児童生徒の理解と指導であると考えている。これを行うには、日々の児童をよく観察し、適切な実態把握をすることと教師、保護者等との連携が必要である。実態把握については、児童生徒とかかわる中で、また児童生徒から少し離れた所からなど様々な児童生徒の生徒を観察する中で気づくことが多い。そこで気付いたことについて、教師同士や保護者と情報交換することで理解が深まる。また、児童とかかわる中では、児童を受容すること、共感的理解することで児童の理解が深まる。これらのことは、様々な児童生徒と出会いながら多くの経験を積み重ねていくなかで、力がついていくと思う。4月までの課題としては、現在学生支援員で訪問している学級の児童とたくさんかかわり、児童理解を心掛けていくことである。また気付いたことや疑問に思ったことは担任の先生に話し、教えてもらったり、一緒に考えたりする中で今から少しずつでも経験を積み重ねていけるようにしていきたいと考える。指導については、児童生徒理解に沿って、一人ひとりのニーズに合わせた指導をすることが大切である。また、褒めることと叱ることは児童生徒の行為の後すぐに伝えるということが大切である。しかし、私は一度考えてから児童生徒に伝えてしまうため、児童生徒に伝わりづらいことが多い。これについても、4月までの課題として学生支援員で訪問している学級で意識して実践していきたい。

また、授業の中で感じたことは、児童生徒と直接かかわるような児童生徒の理解や指導以外の仕事の多さである。しかしどの仕事も児童生徒がよりよい学校生活を送り、のびのびと成長していくためであるということがわかった。仕事の量が多くても、一つ一つの仕事を丁寧にこなしていくためには、限りある時間の中で優先順位を考えて仕事をしていけるようになりたいと考える。4月までの課題として、優先順位を考えて様々な事をこなしていくようにしたい。時間をかけてゆっくりアイデアを考えたいことなどは、移動時間などのちょっとした時間にも考えるようにし、また常にメモができるようにしておくことも大切であると考えている。教師になってからは、授業のアイデアや教材工夫などちょっとした時間に思いついたことが授業を深めたり、発展させたりすることにつながると考える。よって、今から、時間を有効に使えるように意識して生活していきたいと考える。

最後に、4月までにこれまで大学で学んだことを復習しておきたい。今回の授業のオリエンテーションで今年から教師として働く先輩方の話の中で、大学で学んだことを復習しておくべきだったという話が印象的であった。4月から働くということに関して抱く不安を軽減するためには、これまで学んだことを頭に入れておくことが必要であると考えている。4月から仕事が始まり、目の前のことで忙しくなる前に、できることはしておき、少しでも余裕を持って働いていけるようにしたいと思う。